

おたふくかぜ（流行性耳下腺炎） →おたふくかぜワクチン

おたふくかぜは流行性耳下腺炎ともいい、ムンプスウイルスが原因です。感染は唾液による飛沫または接触感染で、2〜3 週間の潜伏期を経て唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）の腫脹と痛みが主な症状として出現します。3 歳〜8 歳ぐらいのこどもがかかりやすい病気で、症状が出現した日を 0 日目として 5 日間は登園、登校ができません。

原因

ムンプスウイルスが原因です。感染は唾液による飛沫または接触感染で、潜伏期は 2〜3 週間です。

症状、合併症

唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）の腫脹と痛みが主な症状として出現します。発熱、頭痛を伴うこともあります。症状が出現した日を 0 日目として 5 日目までは登園、登校ができません。唾液腺の腫脹は 1 週間以上続くことがありますが 5 日間経過していれば感染力がなくなりますので登園、登校できます。

合併症が多くウイルス性髄膜炎は 3〜10%で起こるといわれています。精巣炎や卵巣炎（成人に多いのですが不妊にはなりにくいようです）、膵炎など色々な臓器の合併症がみられます。特に難聴は、頻度は低いのですが回復しにくいので問題です。

予防

おたふくかぜワクチンは 1 歳になったら早めに接種してください。

2 回目は 2 年以上あけて接種してください（日本小児科学会では小学校に上がる前、MR ワクチンの 2 期と同時期を推奨していますが、保育園や幼稚園に通う方は 2 年経ったら 2 回目の接種を済ませてください。）。